

教育理念			●全ての子供の学びを保障する。 ●全ての子供の命を守る。							
学校教育目標			●人間性豊かで意欲的に学び、生き生きと活動する児童を育成する。							
	中期経営 目標	何ができるようになるか (アンケート短期目標値)	何を学ぶか (資質・能力)	どのように学ぶか実施するか (手立て)	7月末 肯定率	12月末 肯定率	評価	前期肯定率を受けての改善点	後期肯定率を受けての考察	学校関係者評価
めざす子供像	思いやりのある子ども	●自分の好きなどところを見つけることができる。(100%)	自己理解力 他者理解力	●認める、褒める、勇気づける学級経営をする。 ●思いやり週間に「思いやりの木」を作成する。 ●キャリアパスポートに記録させる。	児 80%	児		【いつ】2学期から 【だれが】担任が 【どこで】朝学の時間 【何を】「〇〇さんのいいとこさがし」などのエクセサイズを 【どうする】学期に1～2回行う。書いたカードは、本人はもちろん、家に持ち帰り、親からも付け足してもらったり、褒めてもらったりすることで、自己肯定感を高めていく。 【いつ】2学期から 【だれが】担任が 【どこで】学活の時間や帰りの会に教室で 【何を】児童の長所を 【どうする】自覚できるような活動を行う。 【いつ】2学期から 【だれが】職員全員が 【どこで】学校で 【何を】QUで非承認群や不満足群にいる児童に対し、認め、褒め、勇気づける声掛けを 【どうする】重点的に行う。 【いつ】2学期から 【だれが】担任外が 【どこで】職員室で 【何を】児童のよさを 【どうする】付箋などを書いて担任に知らせる。担任は、それを本人が自分のよさとして受け止められるように重ねて声を掛け、記録していく。 ※アンケートの文言を「自分の好きなどところ」→「自分のよいところ」に変更する。		
		●友だちのよいところを見つけることができる。(100%)			保 87%	保				
					教 93%	教				
					児 92%	児				
					保 95%	保				
					教 100%	教				
	自分から学ぶ子ども	●友だちと学び合うことができる。(95%)	探究心	●授業ごとに振り返りをして記録に残させる。 ●家庭と連携し、家庭学習を充実させる。	児 94%	児				
		●自主学習に取り組むことができる。(90%)			保 94	保				
					教 100%	教				
					児 89%	児				
					保 86%	保				
					教 93%	教				
	元気な子ども	●進んで楽しく体を動かすことができる。(95%)	自立自律力 自己管理力	●体育の充実、共遊の活用を図る。 ●早ね早起き朝ごはんの啓発をする。 ●健康管理に関する正しい知識・理解を指導する。	児 89%	児				
		●きまりを守り規則正しい生活をするができる。(90%)			保 94%	保				
					教 93%	教				
					児 94%	児				
					保 93%	保				
					教 93%	教				

教育理念			●全ての子供の学びを保障する。 ●全ての子供の命を守る。							
学校教育目標			●人間性豊かで意欲的に学び、生き生きと活動する児童を育成する。							
	中期経営 目標	何ができるようになるか (アンケート短期目標値)	何を学ぶか (資質・能力)	どのように学ぶか実施するか (手立て)	7月末 肯定率	12月末 肯定率	評価	前期肯定率を受けての改善点	後期肯定率を受けての考察	学校関係者評価
めざす学校像	安心できる学校	●誰かに相談することができる。(90%)	行動力	●学期ごとに教育相談を実施し、記録を残す。 ●Q-Uを実施し、その結果を学級経営に生かす。	児 85%	児		【いつ】2学期から 【だれが】担任が 【どこで】日常生活で 【何を】子供の様子を 【どうする】観察し、変化を捉え、一人一人に声をかけていく。気になる児童は、児童指導主任へ連絡する。(窓口の1本化) 【いつ】11月の教育相談 【だれが】担任以外教職員が 【何を】子供の様子を 【どうする】相談者として、積極的に関わっていく。教育相談の重要性を再認識し、計画的に行う。 【いつ】2学期から 【だれが】教育相談係が 【何を】外部の専門機関を 【どうする】積極的に活用する。特に、鈴木先生が来校した際は、係が校内放送して児童に知らせ、ひとりじゃなくても、たいしたことでもなくとも相談できることを伝え、気軽に話せる環境を整える。 【いつ】2学期からアンケートを実施するときに、 【だれが】担任(教頭)が 【どこで】教室(文書・ホームページ)で 【何を】教育活動例を 【どうする】ボランティアが来ていることを知らないことが考えられるので、具体的に示す。 【いつ】2学期に 【だれが】担任が 【どこで】学年便りで 【何を】地域の方と学習した様子を 【どうする】紹介し、地域と連携した教育活動を行っていることを児童と保護者に強く印象づける。		
		●学校は楽しいと感じることができる。(100%)			保 88%	保				
					教 100%	教				
					児 90%	児				
					保 92%	保				
					教 100%	教				
	満足できる学校	●授業がわかる、できる。(90%)	気づく力	●学期ごとにアンケートを実施する。 ●学期ごとに自分の成長を振り返る時間を確保する。	児 92%	児				
		●成長を感じることができる。(90%)			保 88%	保				
					教 93%	教				
					児 91%	児				
					保 98%	保				
					教 100%	教				
	地域とともにある学校	●連携した教育活動ができる。(95%)	コミュニケーション力	●連携予定の教育活動を教育課程に盛り込む。 ●子供同士が考えを出し合い実行するよう支援する。 ●進んで気持ちのよい挨拶をするよう指導する。	児 78%	児				
		●地域の方に挨拶・感謝することができる。(90%)			保 73%	保				
					教 93%	教				
					児 93%	児				
					保 85%	保				
					教 93%	教				

教育理念			●全ての子供の学びを保障する。 ●全ての子供の命を守る。								
学校教育目標			●人間性豊かで意欲的に学び、生き生きと活動する児童を育成する。								
	中期経営 目標	何ができるようになるか (アンケート短期目標値)	何を学ぶか (資質・能力)	どのように学ぶか実施するか (手立て)	7月末 肯定率	12月末 肯定率	評価	前期肯定率を受けての改善点	後期肯定率を受けての考察	学校関係者評価	
めざす職員像	教育愛のある職員	●子供のよさを認め、伸ばすことができる。(90%)	見取る力	●一人一人のよさを記録し、学級だより等に掲載する。 ●研修会に参加する。	児 94%	児		【いつ】月に1度、 【だれが】教務が 【どこで】職員会議で 【何を】全職員に伝えることを 【どうする】具体的に説明したり、資料を準備したりする。 【いつ】行事や成績など、自分以外の学年や職員が関わって遂行しなければならない事があるときは 【だれが】職員が 【どこで】職員会議で 【何を】計画を 【どうする】最低でも1か月前に連絡調整を行い、全員に周知する。 【いつ】2学期から 【だれが】教頭が 【どこで】校長室で 【何を】企画委員会を 【どうする】月1回実施する。その際、議題の内容は、①学校行事に関すること②学習指導に関すること③児童指導に関すること(特性や配慮を要する児童も含む)④保健指導に関すること⑤特別支援教育に関すること、とする。次第は教頭が作成する。 実際、先生方は日々の仕事に一生懸命で、専門性を高める研修の時間がとれないのが実態である。そこで、 【いつ】2学期から、 【だれが】授業者は 【どこで】授業で 【何を】学校課題に焦点を絞り、日々の授業改善を 【どうする】目指す。研究授業を単発でおわすのではなく、「学び合い」にテーマを絞って手立てを講じ、授業を改善していく。			
		●子供の特性を理解し、寄り添うことができる。(90%)			保 97%	保					
					教 100%	教					
					児 95%	児					
					保 92%	保					
		謙虚さのある職員			●相談すること、相談にのることができる。(95%)	包容力					●個別の行事計画書を作成する前に相談し合う。 ●教育活動後に反省を行い、次年度の計画を立てる。
	●他の意見考えを取り入れることができる。(90%)		保 93%	保							
			教 94%	教							
			児 98%	児							
			保 96%	保							
	教 100%		教								
	自分から学ぶ職員	●先を見通した教育活動の準備をすることができる。(90%)	研究力	●1ヶ月分の予定(週案など)を作成する。 ●教育相談、アンケート調査を定期的に実施する。 ●職員座談会をひらく。	児 98%	児					
		●学び合い、専門性を高めることができる。(90%)			保 98%	保					
					教 80%	教					
					児 98%	児					
					保 97%	保					
		教 87%			教						

教育理念			●全ての子供の学びを保障する。 ●全ての子供の命を守る。							
学校教育目標			●人間性豊かで意欲的に学び、生き生きと活動する児童を育成する。							
	中期経営 目標	何ができるようになるか (アンケート短期目標値)	何を学ぶか (資質・能力)	どのように学ぶか実施するか (手立て)	7月末 肯定率	12月末 肯定率	評価	前期肯定率を受けての改善点	後期肯定率を受けての考察	学校関係者評価
め ざ す 授 業 像	主体的な 授業	●課題を粘り強く追 究することができる。 (90%)	見通す力	●めあてを明確にする。 ●毎時間、学習過程 を掲示する。(見える 化) ●発問を工夫する。	児 92%	児		【いつ】 2学期から 【だれが】 授業者は 【どこで】 授業で 【何を】 振り返りの書き始め の言葉を提示したり、キー ワードを使って文章を書 かせたりして、ふりかえり の充実を 【どうする】 目指す。そのため には、授業プランをしっかり 立て、タイムマネジメン トし、振り返りに十分な 時間を確保することが大 切である。さらに、ふりか えりと評価を関連させ、授 業を改善していく。教師自 身がロイロノートなどタ ブレットのスキルを高め ていく。 【いつ】 各教科の時間に 【だれが】 授業者が 【どこで】 授業で 【何を】 振り返りの時間を 【どうする】 十分にとる。書く ことだけが振り返りでは ないので、質問を検討する とよい 【いつ】 2学期に 【だれが】 担任が 【どこで】 学年便りで 【何を】 児童の振り返りを 【どうする】 保護者に紹介す る。		
					保 86%	保				
					教 100%	教				
		児 95%			児					
		保 86%			保					
		教 93%			教					
	対話的な 授業	●友だちの意見を聴 くことができる。 (90%)	コミュニケ ーション 力	●「話の聴き方」を配 付し具体的な指導と支 援をする。 ●「友だちへの訊き方」 を配付し具体的な指 導と支援をする。	児 97%	児				
					保 98%	保				
					教 100%	教				
		児 90%			児					
		保 84%			保					
		教 100%			教					
	深い学 びのある 授業	●授業からの学びを 自分の言葉で表現 できる。(90%)	応用力	●授業の振り返りをす る。(期待する姿を 明示する。) ●前時からのつながり を意識した課題を設 定する。	児 92%	児				
					保 79%	保				
					教 86%	教				
		児 95%			児					
		保 90%			保					
		教 93%			教					

教育理念		●全ての子供の学びを保障する。 ●全ての子供の命を守る。						
学校教育目標		●人間性豊かで意欲的に学び、生き生きと活動する児童を育成する。						
	何ができるようになるか (アンケート短期目標値)	7月末 肯定率	12月末 肯定率	評価	前期肯定率を受けての改善点	後期肯定率を受けての考察	学校関係者評価	
その他	●安全に生活して交通ルールを守ることができる。(100%)	児 99%	児		【いつ】2学期から 【だれが】係が 【何を】地域ボランティアの活動を児童も保護者も当たり前になってしまっているのを、地域連携の活動を【どうする】地域連携の活動とわかるように伝えていく。例えば、ボランティアルームに活動が掲示してあるがあまり目に触れないので、係が昇降口の「青空班活動」の掲示板などを利用して、多くの人の目に見えるように掲示を工夫する。 【いつ】お知らせ等がある時に、 【だれが】管理職が 【どこで】保護者一斉メールで 【何を】「このお知らせは、ホームページにも掲載されますので、ホームページもご覧ください」という文面を 【どうする】メール送信する。 【いつ】2学期に 【だれが】担任が、 【どこで】毎月の学年便りで 【何を】学校ホームページのQRコードを 【どうする】載せて、見てもらうように宣伝する。			
		保 98%	保					
		教 93%	教					
	●動植物の世話や掃除をきちんとしている。(90%)	児 96%	児					
		教 100%	教					
	●学校は情報を積極的に発信・提供している。(90%)	保 92%	保					
	●教職員は、保護者に対して誠意をもって接している。(90%)	保 95%	保					
	●大沢小学校のホームページを見ている。(80%)	保 66%	保					